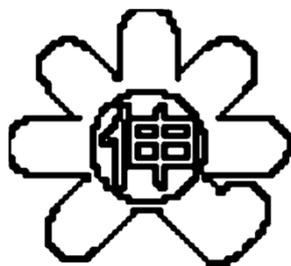
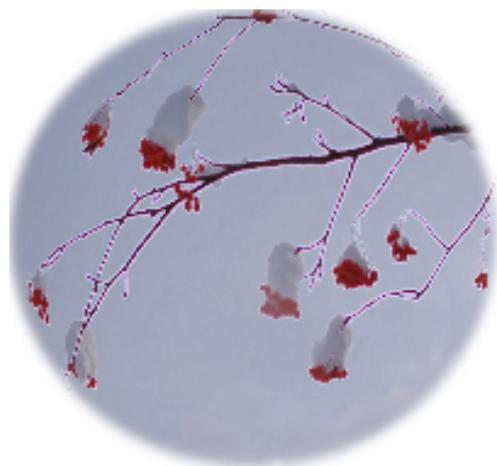


エコアクション21

環境活動レポート2013

(対象期間2013年4月～2014年3月)

2014年9月30日作成



認証・登録番号0000538

ENVIRONMENTAL ACTIVITY REPORT 2013

伸光写真サービス株式会社

Shinko Photograph Service Ltd.

目 次

1.	会社概要	2
2.	対象範囲（認証・登録範囲）	3
3.	環境方針	4
4.	環境目標（中長期目標）	5
5.	環境活動計画（2013年度）	6
6.	環境目標の実績値・取組結果とその評価（2013年度）	7
7.	環境活動計画（次年度の取組内容）	9
8.	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	10
9.	代表者による全体評価と見直し	10

当社は電子業界の最先端技術を積極的に取入れ、人類。社会の進歩発展に貢献し全従業員の幸福を追求します。

当社は様々な分野のプリント配線板の試作品を製作しています。

私たちの製作しているプリント配線板は世界の人々を結びつけ、宇宙開発にも貢献しています。

環境活動とともに世界の人々に幸せを、未来に希望を与えたい……。

持続的地球環境と経済・文化の調和をいつまでも！

1. 会社概要

所在地 〒224-0053 横浜市都筑区池辺町4363番地18

設 立 昭和 52 年 7 月 1 日

代表者 代表取締役 大山 啓治

資本金 払込済 資本金 3,450万円

環境管理責任者 取締役専務 今井 俊夫

連絡先 〒224-0053 横浜市都筑区池辺町4363番地18

TEL : 045(933)8311

FAX : 045(933)8318

事業内容 プリント配線板の製造・メタルエッチング及び
工業用精密マスク製造

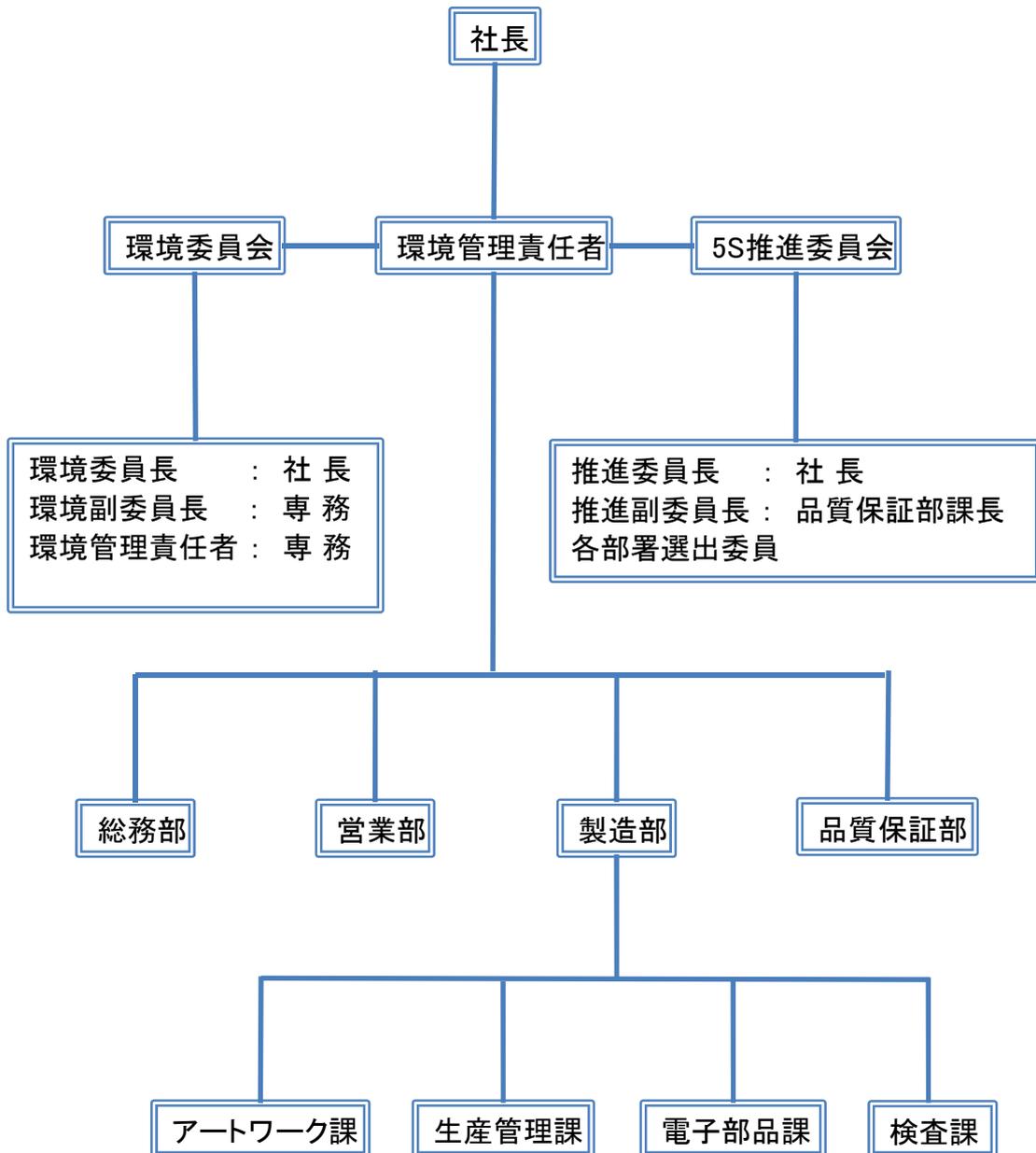
事業の規模 主要製品の生産量・出荷額 2.5t・379百万円

従業員総数 30名

床 面 積 640m²

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

※環境管理組織を含みます



3. 環境方針

伸光写真サービス株式会社は住宅地域に密着した企業として、身近な周辺環境保全と資源の節減・回収・リサイクル問題に積極的に取り組み、環境に配慮した事業活動を推進し“かけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐ”事を目指し次の環境活動を展開します。

- ① 事業活動より発生する各種廃棄物、化学物質の管理を徹底し法令を遵守すると共に、化学物質及び各種廃棄物の削減・回収・リサイクルに努めます。
- ② 水質汚染・大気汚染の予防及び騒音問題についても法令を遵守すると共に、地域周辺への配慮を優先した事業活動を行います。
- ③ 消費電力・ガソリン・コピー用紙・上水道等の使用量削減を中心とした省エネルギー・省資源活動を行い、CO2の削減に努めるとともにグリーン調達を推進します。
- ④ 生産効率及び製品の品質を向上させ環境に配慮した生産活動を行い、環境負荷の低減に貢献します。
- ⑤ 周辺住民との積極的な対話を持ち、環境保全についての地域行事に進んで参加します。

以上のことを実施するため、環境に関する目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進する。
この環境方針は、全社員に周知させると共に、外部の利害関係者が入手可能にする。

制定日2005年06月20日
改定日2011年09月16日
伸光写真サービス株式会社
代表取締役 大山啓治

4. 環境目標(中長期目標)

環境目的	環境目標	2012年度 目標と実績	2013年度 目標と実績	2014年度 目標	2015年度 目標
省エネルギー (二酸化炭素 排出量の削減)	電力使用量 (Kw)	150,516 実績144,992 (-4%)	143,542 (2012年比 -1%) 実績131,223 (-9.4%)	142,106 (2012年比 -2%)	140,671 (2012年比 -3%)
	ガソリン使用量 (L)	3,816 (監視データ) 実績 3,924(+3%)	3,384 (監視データ) 実績3,328(- 2%)	3,240 (監視データ)	3,240 (監視データ)
	二酸化炭素排出量 (Kg)	81,977 実績79,475 (-3%)	77,091 (2012年比 -3%) 実績71,420 (-10.1%)	75,501 (2012年比 -5%)	73,912 (2012年比 -7%)
資源のリサイ クル(3Rの推 進、廃棄物等 の削減)	一般廃棄物 (Kg)	576 実績516 (-10%)	516 (監視データ) 実績445 (-13.8%)	516 (監視データ)	516 (監視データ)
	産業廃棄物 (Kg)	33,600 実績32,916 (-2%)	32,586 (2012年比 -1%) 実績31,795 (-3.4%)	32,260 (2012年比 -2%)	31,934 (2012年比 -3%)
省資源の推進	上水道使用量 (m ³)	1,320 実績 1,371(+4%)	1,356 (2012年比 -1%) 実績 1,485(+8.3%)	1,343 (2012年比 -2%)	1,330 (2012年比 -3%)
	コピー用紙使用量 (枚)	69,672 (監視データ) 実績59,500 (-15%)	59,500 (監視データ) 実績52,000 (-12.6%)	59,500 (監視データ)	59,500 (監視データ)
環境汚染の 防止	グリーン購入の推進 (数)	2品目購入 実績(達成)	4品目購入 実績(達成)	6品目購入	8品目購入
	化学物質の使用量・ 排出量の削減 (%)	目標仮設定 現状把握: 廃 酸0.11kg、廃 アルカリ 0.12kg使用	廃酸・廃アル カリを2012年 比 -1% 実績(-0.7%)	廃酸・廃アル カリを2012年 比-2%	廃酸・廃アル カリを2012年 比-3%
生産活動で の環境負荷 の低減	不良損失金額低減 (%)	2011年比 -10% 実績(-10%)	2011年比 -15% 実績(+92%)	2011年比 -20%	2011年比 -25%
地域社会と の協調・連携	環境ボランティア 活動の実施(回)	年1回実施 実績(達成)	年1回実施 実績(達成)	年1回実施	年1回実施

5. 環境活動計画(2013年度)

項目	内容
電力使用量の削減	屋上の遮光対策 エアコンの屋外機の日蔭 クールビズの早期化、長期化(5月～9月)
ガソリン使用量の削減	エコドライブ等継続実施 監視データに設定
上水道使用量の削減	工場内流水洗浄作業はタイマー設定で管理 生産時に使用する水道水の正確な量を把握するため 専用水道メータで使用量を把握
コピー用紙使用量の削減	イントラネットの有効利用 裏紙の再利用、両面・縮小コピーの継続実施 監視データに設定
一般廃棄物の削減	ごみの分別を再認識する(分別表作成) 古紙はリサイクル業者に移管する ビニール袋の分別、再利用 監視データに移行検討
産業廃棄物の削減	フィルム描画率アップによる定着液、フィルムの削減、 金属類の分別回収リサイクル
化学物質排出量の削減	原単位による化学物質の使用量を把握し、管理を強化し 使用量を削減する。
グリーン購入の推進	環境負荷ができるだけ小さいものを優先して購入する
生産活動での環境負荷の低減(不良損失金額を把握)	事前技術会議による技術不良の低減 ヒューマンエラーの防止による不良損失金額の削減
環境ボランティア活動の実施(回)	環境ボランティア活動(鶴見川清掃)の継続実施 近隣住民とコミュニケーションを図る

2013年10月 鶴見川清掃のときの写真です



6. 環境目標の実績値・取組結果とその評価(2013年度)

購入電力の排出係数: 0.463 (kg-CO2/kwh)

環境目的	環境目標	2013年度 目標	2013年度 実績値	取組結果	評価
省エネルギー (二酸化炭素 排出量の削減)	電力使用量の削減 (Kw)	143,542	131,223	-8.6%	○
	ガソリン使用量の 削減(L)	3,384 (監視データ)	3,328 (監視データ)	-2%	○
	二酸化炭素排出量 の削減(Kg)	77,091	71,420	-7.4%	○
資源のリサイ クル(3Rの 推進、廃棄 物等の削減)	一般廃棄物の削減 (Kg)	516	445	-13.8%	○
	産業廃棄物の削減 (Kg)	32,586	31,795	-2.4%	○
省資源の 推進	上水道使用量の削 減(m ³)	1,356	1,485	+9.5%	△注1
	コピー用紙使用量 の削減(枚)	59,500 (監視データ)	52,000	-12.6%	○
環境汚染の 防止	グリーン購入の推 進	4品目購入	4品目購入	目標数を 購入済み	○
	化学物質 排出量の削減 (%)	描画フィルム 利用率77% (2012年比-1%)	描画フィルム 利用率76.5% (2012年比-0.7%)	-0.7%	△注2
生産活動で の環境負荷 の低減	不良損失金額低減 (%)	2011年比-15%	2011年比+92%	+92%	×注3
地域社会と の協調・連	環境ボランティア 活動の実施(回)	年1回実施	年1回実施	実施	○

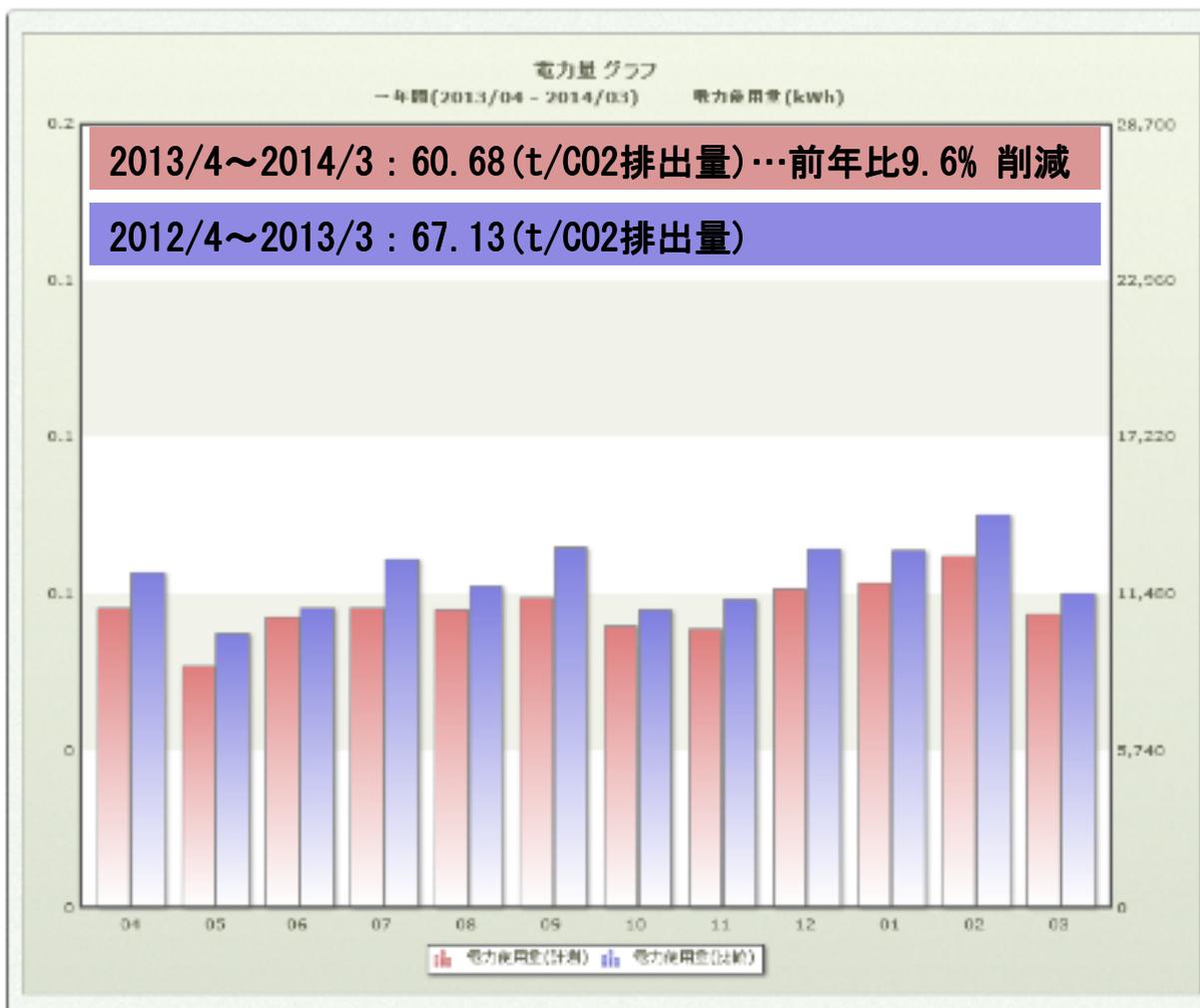
注1) 建物内での漏水の発生及び大判の基板製造が特に多く未達となりました。

注2) ほぼ管理限界に近づきつつあります。

注3) 経営方針にしたがい、いくつかの難易度の高い製品の試作をトライしたため未達となりました。

下の図は、日本テクノ株式会社様と契約している電力監視システムのグラフです。
前年度比較を示します。

計測データ		比較データ	
計測日	2014/3	比較日	2013
デマンド値	84 kW	デマンド値	82 kW
電力使用量	131,068 kWh	電力使用量	144,934 kWh
電気料金	1,281,200円	電気料金	3,314,532円
電圧 0.0 kVA 電流 0.0 kVA		電圧 0.0 kVA 電流 0.0 kVA	
CO2排出量 80.8 t-CO2 原油換算 32.13 t		CO2排出量 67.18 t-CO2 原油換算 26.98 t	



7. 環境活動計画(次年度の取組内容)

環境目標	次年度の取組内容
電力使用量の削減 (Kw)	電力監視システムのデータにより電力のピークデマンドを抑える (省エネ法改正事項…努力義務) 電力監視システムのデータからポイント押さえて取り組む
ガソリン使用量の削減(L)	毎月のガソリン使用量の把握 エコドライブ等継続実施 ・発進時、急加速しないようにする。 ・月に1回タイヤの空気圧をチェックし記録する 引き続き監視データとする
二酸化炭素排出量の削減(Kg)	大きな影響を及ぼす、電気とガソリンに注力して削減する
一般廃棄物の削減 (Kg)	外注業者から入る合紙やビニールで不要なものは断る・返却する ごみの分別を再認識する(分別表作成) 古紙はリサイクル業者に移管する ビニール袋の分別、再利用 監視データへ移行
産業廃棄物の削減 (Kg)	フィルム描画率アップによる定着液、フィルムの削減、 金属類の分別回収リサイクル
上水道使用量の削減(m ³)	引き続き以下の項目を実施 生産時に使用する水道水の量を個別の水道メータで管理 使用量の把握をニカ月毎から一か月毎に変更し監視を強化する
コピー用紙使用量の削減(枚)	マルチファンクションプリンタの導入によるスキャナーの有効活用 (社内データのソフト化の推進) イントラネットの有効利用を促進 裏紙の再利用、両面・縮小コピーの継続実施 引き続き監視データとする
グリーン購入の推進	環境負荷ができるだけ小さいものを優先して購入
化学物質 排出量の削減 (%)	描画フィルム利用率を低減し、廃酸・廃アルカリの排出量を定量的に 把握し削減する
不良損失金額の 低減 (%)	5Sの目的に「不良損失金額低減」を明確に定め実施する ヒューマンエラー対策、不具合様式の分析 ISO9001等、品質教育を実施する
環境ボランティア 活動の実施(回)	環境ボランティア活動(鶴見川清掃)の継続実施 地域行事に協賛企業として参加

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認、違反等の有無

主な適用法規制	内 容	遵守状況
下水道法	公共下水道排水の定期分析 異常なし(外部監査あり)	○
騒音規制法	地域住民からの苦情なし	○
土壌汚染対策法 水質汚濁防止法	特定有害物質有り	○
悪臭防止法	対象物質なし	○
廃棄物処理法	指定回収業者定期点検 マニフェストの管理	○
横浜市及び 神奈川県 条例	A除外施設問題なし。資格者保有	○
製品含有化学物質 管理	RoHS/改正RoHS(RoHS2)/J-Moss、REACH(含高懸念物質 コンゴ民主共和国等産出の紛争鉱物)	○

環境関連法規への遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。
また、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

多品種少量生産の当社においては、電気、水道の使用量の変動が大きく、CO2を継続的に削減していくことは非常に難しいところがあります。しかしながら、ほぼ下限値を保持していると考えられます。

- ・電気においては、既に導入している電力監視システムのデータを基に、ピークデマンド制限において効果が出ました。(省エネ法改正事項…努力義務)
- ・水道においては、工場内に特別に設置した数個の水道メータにより個別管理も実施してきました。今後もこれらの項目については詳細に監視していく必要があります。
- ・化学物質管理においても、ほぼ監視状態になりつつあります。

さらなる継続的改善として次の取り組みを行います。

- ・社内外のリスクマネジメントを通し、影響の程度、頻度、潜在性を分析し優先順位付けして実施します。
- ・歩留向上及び不良損失金額低減に注力して、生産性の向上を図ります。
- ・酸・アルカリ廃液等の移送に関し、立会い及び教育訓練を継続して実施します。
- ・RoHS、REACH等、製品含有化学物質管理を強化していきます。

引き続き、地域社会との協調として、近隣住民参加型のイベント、鶴見川清掃活動を実施します。
また、鶴見川水マス推進サポータ認定登録、グリーン購入ネットワークへの加入を継続します。

代表取締役社長 大山 啓治

環境にやさしいプリント配線板作りとともに世界の人々に幸せを…そう願いながら伸光写真サービスは
今日も環境活動を続けています。

持続的地球環境と経済・文化の調和をいつまでも！